

1「教師との関係」と「自分に対する考え」分析と傾向

【概要】

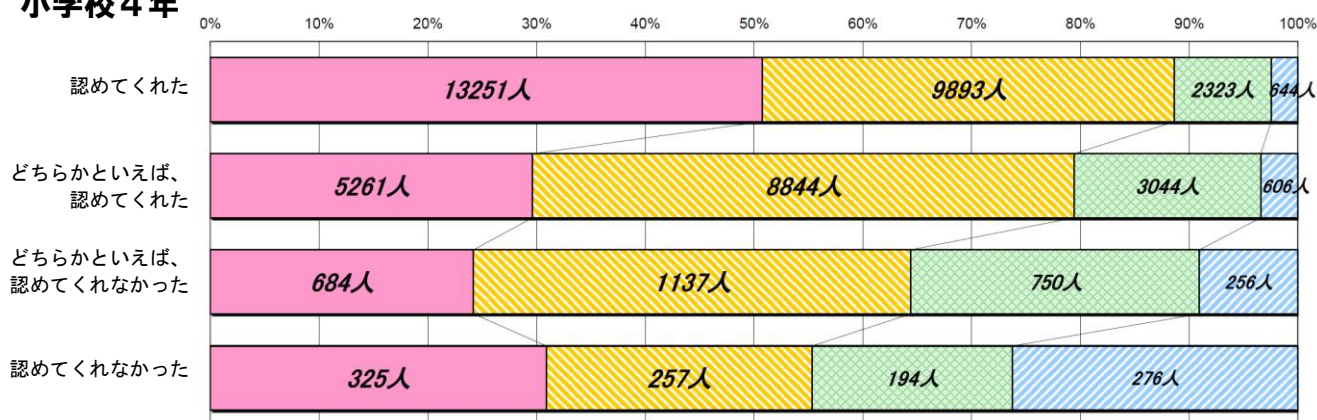
教師が「認めてくれた」という実感を持つ子供ほど、自分自身について「難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している」「どちらかといえば、している」と肯定的に回答する傾向が見られる。

また、児童生徒の多くは、教師から認められていることに対して肯定的に回答している。

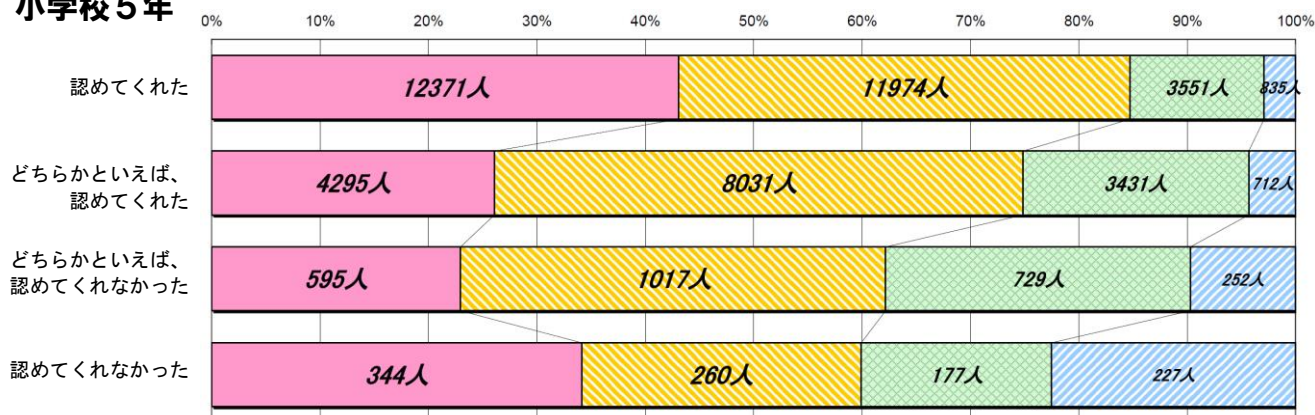
縦軸カテゴリー	学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか。
横軸カテゴリー	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。

□している □どちらかといえば、している □どちらかといえば、していない □していない

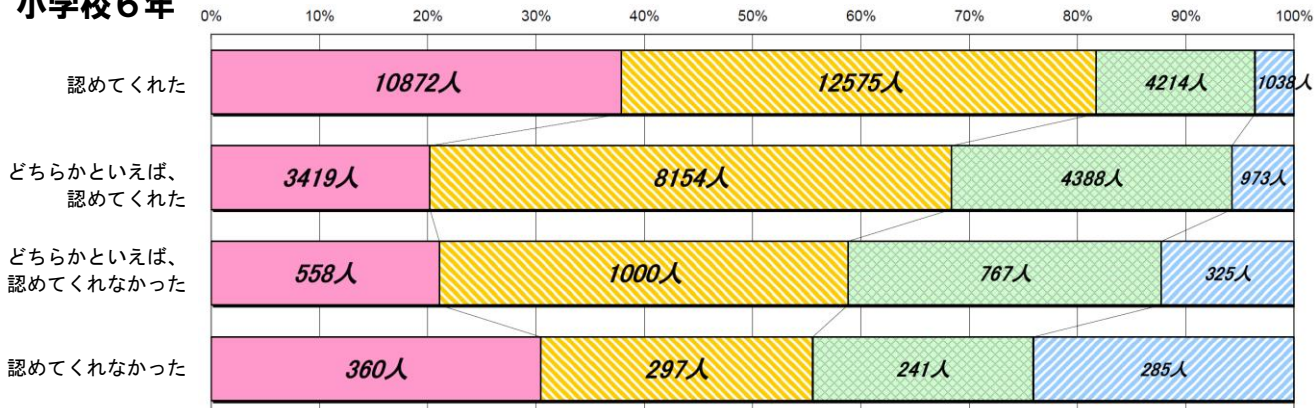
小学校4年



小学校5年



小学校6年



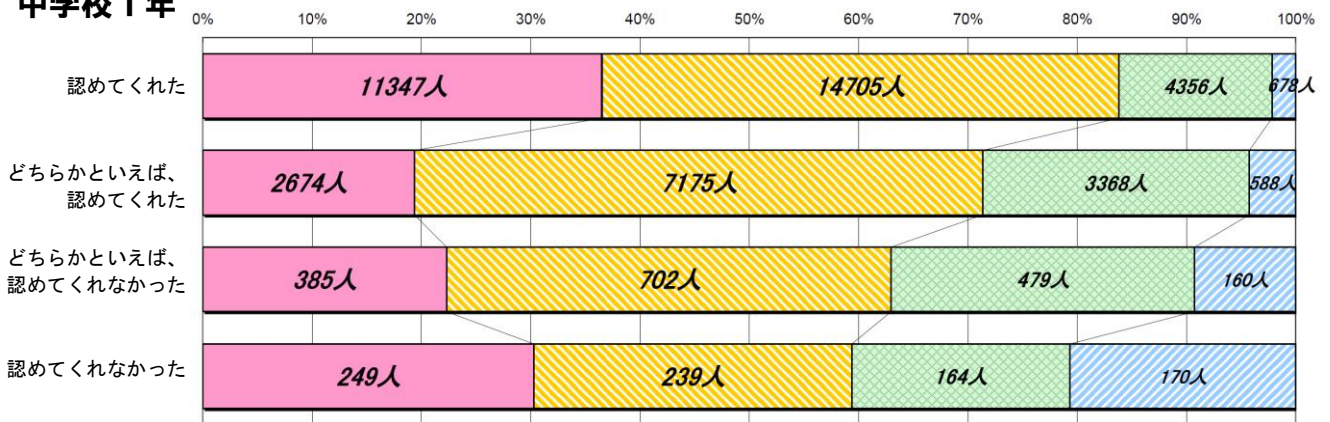
【先生方へのメッセージ】

- 子供たちは自分の努力やよさを認められたり、ほめられたりすることによって、自己有用感や自信を高めていきます。
- 一人一人の子供たちに自信を持たせる言葉かけを、継続的に行いましょう。
- 子供が挑戦したときに、結果だけでなく過程を振り返らせたり認めたりして、次につなげる意識を持たせることが大切です。

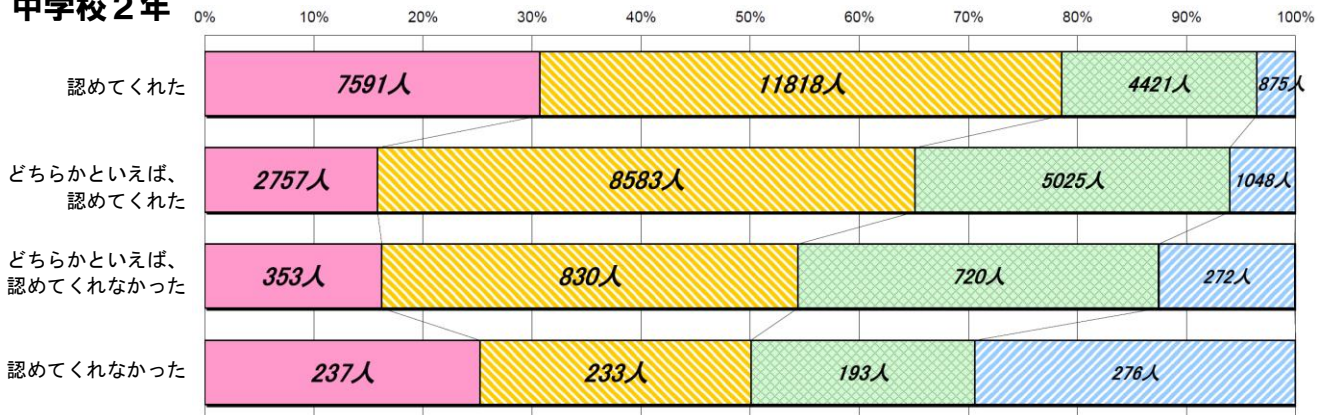
縦軸カテゴリ	学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか。
横軸カテゴリ	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。

□している □どちらかといえば、している □どちらかといえば、していない □していない

中学校1年



中学校2年



中学校3年

